



## カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム）の記録 対象：日系人青少年招へい1陣（米国）

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生及び引率者 100 名が 2019 年 12 月 17 日～12 月 24 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

#### 【参加国・人数】

米国：100 名

#### 【訪問地】

東京都・神奈川県(全員)、愛知県・福井県(グループA/B 50名)、福島県(グループC/D 50名)

### 2. 日程

12/17(火)	【来日】		
12/18(水)	<b>【オリエンテーション】</b> <b>【講義】</b> (公財) 海外日系人協会 小嶋 茂 氏 <b>【視察】</b> 海外移住資料館 神奈川県から愛知県へ移動 (A/B グループ)		
12/19(木)	(1) グループ A/B: 愛知県・福井県	(2) グループ C/D: 福島県	
	<b>【学校交流】</b> 中京大学 <b>【視察】</b> 大須観音・大須観音商店街 愛知県から福井県へ移動	東京都から福島県へ移動 <b>【地域概要講義】</b> 喜多方市役所産業部 室長 福地 精治 氏	
		グループ C	グループ D
		<b>【視察】</b> 大和川酒造店	<b>【文化体験】</b> 赤べこ絵付け
12/20(金)	<b>【地域概要講義】</b> 福井県産業労働部副部長 谷口 竜哉 氏 <b>【視察】</b> 養浩館庭園 <b>【文化体験】</b> 坐禅(大本山永平寺) <b>【ホームステイ対面式】</b>	<b>【学校交流】</b> 郡山女子大学	
		グループ C	グループ D
		<b>【文化体験】</b> 赤べこ絵付け	<b>【視察】</b> 大和川酒造店
		<b>【ホームステイ対面式】</b>	

12/21(土)	【ホームステイ】	
12/22(日)	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ（報告会準備）】	
12/23(月)	福井県から東京都へ移動	福島県から東京都へ移動
	【成果報告会】	
12/24(火)	【表敬訪問】尾身朝子外務大臣政務官 【離日】	

### 3. プログラム記録写真

#### 全グループ（東京都・神奈川県）



12/18【講義】（公財）海外日系人協会  
小嶋 茂 氏



12/18【視察】海外移住資料館



12/23【成果報告会】



12/24【表敬訪問】尾身朝子外務大臣政務官

グループ A/B (訪問地: 愛知県・福井県)



12/19【学校交流】中京大学



12/19【視察】大須観音・大須観音商店街



12/20【地域概要講義】福井県産業労働部  
副部長 谷口竜哉 氏



12/20【文化体験】坐禅(大本山永平寺)



12/21【ホームステイ】



12/22【ホームステイ歓送会】

グループC/D（訪問地：福島県）



12/19【視察】大和川酒造店



12/20【学校交流】郡山女子大学



12/20【文化体験】赤べこ絵付け



12/21【ホームステイ】



12/22【ホームステイ歓送会】



12/22【ワークショップ（報告会準備）】

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ グループA（訪問地：愛知県・福井県）

日系についての講義では、「日系」と「日系人」の違いなどを解説いただき、大変興味深いものでした。学校交流では、同世代の日本人学生が重要視している防災と在宅勤務といった社会問題について話し合うことができました。ある学生は、今まで私たちのような日系人の存在を知らなかったと言っていました。今回の交流は私たち日系人にとっても、有意義なものであったと思います。地方都市訪問では福井県についてたくさん学びました。ホストファミリーに会う前に地域概要講義を通して地域の歴史について知ることができました。福井で会ったホストファミリーやホームステイ中に会った方々の多くが生まれも育ちも福井県だったので、講義を通して事前に地域の情報を入手できて良かったです。カケハシ・プロジェクトで訪れるまで福井のことを知りませんでした。東京のように日本の中心部だけでなく、田舎も訪れることができよかったです。ホストファミリーの心優しさには感銘を受けました。自分の日本語能力が不十分なため、コミュニケーションが難しい場面もありましたが、私たちグループを迎えてくださったご夫婦の温かさは容易に感じることができました。お二人は農家なので、全ての作物を自身の畑で、一から栽培していました。お二人と過ごした時間を通して自分の日系人のルーツに関して理解が進んだような気がしました。

##### ◆ グループB（訪問地：愛知県・福井県）

海外移住資料館の先生による基調講演は日系人の歴史を包括的に学ぶことができた、大変素晴らしい企画でした。先生ご自身の研究の内とても興味深かったのは、異人種間の結婚により生まれた人々が増えているということです。この事実は誰もがそれぞれ独特の生い立ちや背景を持っていることを示しており、社会全体が注視すべき事実だと思います。学校交流は、学生の皆さんが他国の自然災害について学んでいたことが、とても興味深く感じました。日本の防災や復興の取組について教えていただいたことで、米国では災害のための備えが不十分であることに気づきました。ホームステイは、日本の文化を体験できたので素晴らしい経験でした。テレビを見たり、教科書を読んで情報を得たのではなく、私達は日本文化を直に体験することができたのです。

##### ◆ グループC（訪問地：福島県）

プログラム中最も印象深かった基調講演では、日系、日系人について様々な異なる面や考えがあることが分かりました。一般に日本人であることや、日本人の祖先を持つというのはその興味深く様々な経験に基づく歴史的背景から、とても深い意味があるのだと気づきました。学校交流では浴衣を着たり、茶道を体験するなど、日本文化について学べた一方、お互いの共通点に関しても色々気づかされました。企業と政府機関を訪問した際、両職場が働いている職員を大切に、職員全体のために目標達成に向けて努力している様子がうかがえました。ホームステイは日程の中でも特別な経験であり、ホストファミリーのおもてなしに感動しました。日本の伝統的な家に滞在し、美味しい食事を味わうだけでなく、まるで家族の一員のように受け入れていただきました。

#### ◆ グループD（訪問地：福島県）

海外移住資料館の訪問では、自分の家族と似通った多くの事例や話を聞くことができ、素晴らしい経験となりました。今まで知らなかった私の祖先や家系図などについても多々発見があり、目から鱗の体験でした。今まで私の日本に対してのイメージは大都市ばかりでしたが、今回の地方でのホームステイを終えて、とても充足感を感じました。2泊3日、農家にお邪魔させていただき、ホストファミリーの方から様々なことを教わったので、この経験を今後の生活に生かしたいと思います。特に鮮明に覚えているのが、地元市場に出荷するお花の植え付けの手伝いをしたことです。こつこつと手作業を繰り返すことでやっと店頭と並ぶ美しい花になる、商品の評価と共に生産者が費やす努力に関してもっと周知すべきだと気づかされました。今回の経験を通して、私は自分と日系コミュニティとのつながりについて気づかされました。私は、日系人であることを誇りに思います。

### 5. 受入れ側の感想（抜粋）

#### ◆ 学校交流参加学生

これまで、外国人の方と実際に会って話すという経験がなかったため、今回とても貴重な体験をさせていただきました。日系米国人の方の発表を聴く機会がありましたが、実体験を元にした差別や偏見について、こうした場面を通して、周りの人々に知ってもらい、広めていくという、とても影響力のあることをして感動しました。ジャンルに関わらず様々な話題で一緒に盛り上がることができとても楽しかったです。今回の経験から、私も英語を話すことができるようになりたいという目標ができ、また、今後このような機会に触れることがあったら、より多くの会話をしたいと思いました。

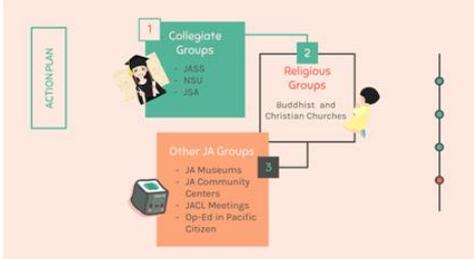
#### ◆ ホストファミリー

日系人の学生さんたちは、皆さん家族のことや日系人としての風習（お正月、お盆、着付け等）などについて教えてくださいました。とても楽しい3日間を過ごすことができました。寄せ書きも日本語で書いてくれました。

## 6. 参加者の対外発信

 <p>Emma Anderson is feeling appreciative in Echizen. Yesterday at 5:53 AM</p> <p>Can't get over how beautiful the city of Echizen-Shi is. We stayed here for two nights with a homestay family that toured us all over the region. The city is famous for its soba noodles, handcrafted knives, and washi paper. A refreshing break from fast-paced Tokyo and Nagoya. I have so much love and appreciation for rural Japan 🇯🇵 #JACLkakehashi #kakehashi2019</p> <p>Sara Golshani, Archita Ganesh and 35 others</p> <p>3 Comments</p>	 <p>Liked by gwentrapp and others</p> <p>kenzijoko arigatogozaimashita, oshima-san! glad to have considered these two my obachan and ojichan the past few days:) till next time&lt;3 #kakehashi</p> <p>View all 3 comments</p> <p>truebunny Also this is so cute 🥰</p> <p>leighoharris LOVE 🥰🥰🥰</p> <p>42 minutes ago</p>
<p>ホームステイについての発信 (Facebook) 越前市の美しさを忘れることができません。ここで2泊ホームステイをしました。ホストファミリーは町の様々な所を見せてくれました。越前市はそば、手作りの包丁、和紙で有名です。都会の東京・名古屋とはひと味違うゆったりとした環境を満喫しました。日本の地方が大好きになり、その素晴らしさに感激しました。</p>	<p>ホームステイについての発信 (Instagram) 大嶋さん、ありがとうございました。私の“おばちゃん”と“おじちゃん”2人と数日間を過ごすことができ、とてもうれしいです。また会う日まで。</p>
 <p>Liked by lindsaaywhaat and 13 others</p> <p>chris.miyashiro With our yukatas on and our stomachs full, Kakehashi group C was lookin <i>100</i> last night. In Kitakata city we sipped sake, ate ~quality~ ramen, and danced traditional obon dances. Thank you #kakehashi2019 for bringing us together and giving us the opportunity to immerse ourselves in the vibrant culture of Japan. #jice #usa #kakehashiaward #japan</p>	 <p>Liked by riaplay and others</p> <p>whattheheckert #latepost of painting akabeko (red ox), riding the shinkansen &amp; soaking in the onsen in Kitakata City!</p>
<p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram) カケハシのグループCは、浴衣を着ておなか一杯になりみんな満足しました。喜多方市では日本酒を試飲し美味しいラーメンを食べたり、盆踊りに参加したりしました。日本の文化を十分に堪能できるこのような素晴らしい招へいの機会を頂き、ありがとうございました。</p>	<p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram) 赤べこの絵付けをしたり、新幹線に乗ったり、喜多方市で温泉にも入りました。</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>アクション・プランの発表（グループ A） 来日する機会を得たことを大変光栄に思い、日本が如何に素晴らしいかを他の人に知ってもらうことが恩返しになると思うため、「Paying it Forward」と題した活動を行う。</p> <p>信じられないくらい素晴らしい日本での体験を Instagram・Facebook・Snapchat・YouTube・LinkedIn・Twitter・Blog・Tik Tok に載せ、日本について肯定的な見方を持ってもらい、更には来日したいと思ってもらおう。</p> <p>第一に友人・家族、第二にコミュニティの人々、最後に SNS を使用している一般の方々に共有する。</p>	<p>アクション・プランの発表（グループ B） NSU (Nikkei Student Union) や大学キャンパスの組織・学部など、コミュニティや JACL での会合や行事、更に、夏季プログラムや夏季キャンパス、青年グループや大学のキャンパスのクラブなどにおいて、日本で得た経験を共有し、日本で気づいたことや日本の文化について伝える。</p>
	
<p>アクション・プランの発表（グループ C） どのような行程だったのか分かる動画を作る。カケハシ・プロジェクトのフライヤーを作成する。知り合いの日系人 3 人に呼びかけをしてプログラムに申し込むよう促す。文化を知ってもらうことで関心を持ってもらう。</p>	<p>アクション・プランの発表（グループ D） 日系アメリカ人大学生コミュニティに対してカケハシ・プロジェクトの様々な側面を紹介するよう、質疑応答を含めた短い講義をする。講義ではプログラム中に撮った様々な場面や発信したソーシャルメディアを含むパワーポイントを利用する。そうすることで、プログラム内容をより明確にし、講義を補足する。</p>